



2026年

ネクタリン病害虫防除暦

J A 中野市園芸課

回数	散布日	散布時期	散布薬剤（水 100 ㍓当り）	収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 ㍓／10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
1	月 日	発芽前	(水 9 8 ㍓) アプロードフロアブル 1 0 0 m㍓ キンセツ水和剤 80 1 0 0 g スプレーオイル 2 ㍓	7 日前 開花直前 発芽前	2 回 5 回 —	3 0 0	せん孔細菌病 (縮葉病) カイガラムシ類幼虫 ハダニ類	①【代替】キンセツ水和剤 80・アプロードフロアブルに代えて、石灰硫黄合剤の 10 倍（発芽前）でもよい。 * 石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールにかからないよう注意する。
◆ せん孔細菌病対策：重要防除期間（開花直前 ～ 6 月中下旬）の防除と併せて春型枝病斑の切除を徹底し、園地内の菌密度を減らす。								
2	月 日	開花直前	展着剤（アビオン-E） 5 0 m㍓ IC ボルドー412 3. 3 kg	—	—	3 5 0	せん孔細菌病	①展葉後のボルドー散布は薬害を生じるため、散布時期を厳守する。
3	月 日	落花直後	展着剤（アビオン-E） 5 0 m㍓ サムコルフロアブル 10 2 0 m㍓ パレード 15 フロアブル 5 0 m㍓ アグレプト水和剤 1 0 0 g	3 日前 前日 6 0 日前	2 回 2 回 2 回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ ハマキムシ類 コスカシバ	②アブラムシ類対策 落花直後の散布にウララ DF の 2, 000 倍（7 日前、2 回）を加用する。 ③【代替】第 4 回散布：トレノックスフロアブルに代えて、ストロビードライフロアブルの 2, 000 倍（前日、3 回）でもよい。 尚、ストロビードライフロアブルは、ぶどうにかかると薬害を生じる恐れがあるため注意する。
4	月 日	5 月中旬 (前回から 10 日後)	展着剤（アビオン-E） 5 0 m㍓ モスピラン顆粒水溶剤 2 5 g トレノックスフロアブル 2 0 0 m㍓ アグレプト水和剤 1 0 0 g	3 日前 3 0 日前 6 0 日前	3 回 5 回 2 回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類	
5	月 日	5 月下旬 (前回から 10 日後)	展着剤（アビオン-E） 5 0 m㍓ トレノックスフロアブル 2 0 0 m㍓ ダイアジノン水和剤 34 1 0 0 g I C ジンク水和剤 1 0 0 g	3 0 日前 2 1 日前 発病前～ 発病初期	5 回 3 回 8 回	5 0 0	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 シンクイムシ類 (モモハモグリガ) アブラムシ類	①【代替】ダイアジノン水和剤 34 に代えてハチハチフロアブルの 2, 000 倍（前日、2 回）でもよい。 ②【代替】IC ジンク水和剤に代えてマイコシールドの 1, 500 倍（28 日前、5 回）でもよい。
6	月 日	6 月上旬 (前回から 10 日後)	展着剤（アビオン-E） 5 0 m㍓ アルバリン顆粒水溶剤 5 0 g トレノックスフロアブル 2 0 0 m㍓ マイコシールド 6 6 g	前日 3 0 日前 2 8 日前	3 回 5 回 5 回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 シンクイムシ類 モモハモグリガ アブラムシ類 カメムシ類	①カイガラムシ類対策 コルト顆粒水和剤の 2, 000 倍（前日、3 回）を加用する。
7	月 日	6 月中下旬	展着剤（アビオン-E） 5 0 m㍓ デランフロアブル 1 6 6 m㍓ オリオン水和剤 40 1 0 0 g スターナ水和剤 1 0 0 g	1 4 日前 2 1 日前 7 日前	2 回 2 回 3 回		せん孔細菌病 ホモブシス腐敗病 黒星病、灰星病 カイガラムシ類 アブラムシ類 モモハモグリガ	①晩生種：せん孔細菌病対策 スターナ水和剤に代えてマイコシールドの 1, 500 倍（28 日前、5 回）を使用する。
8	月 日	7 月上旬	展着剤（ハイテンパワー） 1 0 m㍓ ナリアWDG 5 0 g イカズチWDG 6 6 g	前日 前日	2 回 2 回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類 アザミウマ類	①ナリア WDG はぶどう（ピオーネ、サニールージュ）、西洋梨ル・レクチェに薬害を生じるため、飛散しないよう注意する。
9	月 日	7 月中下旬	展着剤（ハイテンパワー） 1 0 m㍓ オンリーワンフロアブル 5 0 m㍓ エクシレルSE 2 0 m㍓	前日 前日	3 回 3 回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 モモハモグリガ	①ハダニ類対策 マイトコーネフロアブルの 1, 000 倍（3 日前、1 回）を加用する。
10	月 日	8 月上旬	展着剤（ハイテンパワー） 1 0 m㍓ ベルクートフロアブル 5 0 m㍓ テルスターフロアブル 3 3 m㍓	前日 前日	2 回 2 回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類 (アザミウマ類)	
11	月 日	8 月中下旬	展着剤（ハイテンパワー） 1 0 m㍓ アルバリン顆粒水溶剤 5 0 g オーシャインフロアブル 5 0 m㍓	前日 前日	3 回 3 回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類 アブラムシ類	①【もも混植園】アザミウマ類対策 ディアナ WDG の 10, 000 倍（前日、2 回）を加用する。
12	月 日	9 月上旬	展着剤（ハイテンパワー） 1 0 m㍓ ベルクートフロアブル 5 0 m㍓	前日	2 回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病	①【もも混植園】シンクイムシ類対策 イカズチ WDG の 1, 500 倍（前日、2 回）を加用する。
13 14 15	月 日 日	収穫終了後 9 月上中旬 ～ 3 回散布	展着剤（アビオン-E） 5 0 m㍓ IC ボルドー412 3. 3 kg ダイアジノン水和剤 34 1 0 0 g	— 2 1 日前	— 3 回		せん孔細菌病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラ ムシ若齢幼虫	①ダイアジノン水和剤 34 は 1 回目の散布のみ使用する。 ②【代替】IC ボルドー412 に代えて、ムッシュボルドーDF の 500 倍（開花前まで）でもよい。薬害が心配される場合は、クレフノンの 100 倍を加用する。 ③コスカシバ対策 フェニックスフロアブルの 4, 000 倍（前日、2 回）を樹幹部及び主枝に十分かかるように散布する。

【安心・安全な農産物生産のために使用基準を厳守しましょう】

混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル（DF）⇒顆粒水和剤（WDG）⇒水和剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します